

聖徳大学収蔵名品展

本で見る

江戸の

暮らしと文化

— 蔦屋重三郎の魅力を探る —

SEITOKU UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE
SEITOKU UNIVERSITY
60th
聖徳大学35周年 短大60周年



9/16～
12/12

入場無料

9：00～17：00

会場：聖徳大学 企画展示ギャラリー（8号館1階）

江戸時代は本の時代。たくさんの本が出版されました。医者やランキングにしたり、ハウツーものを作ったり、どれにも共通することは、暮らしを「おもしろがる」点にありました。特に、蔦屋重三郎の時代には、様々に工夫された本が出版されるようになりました。

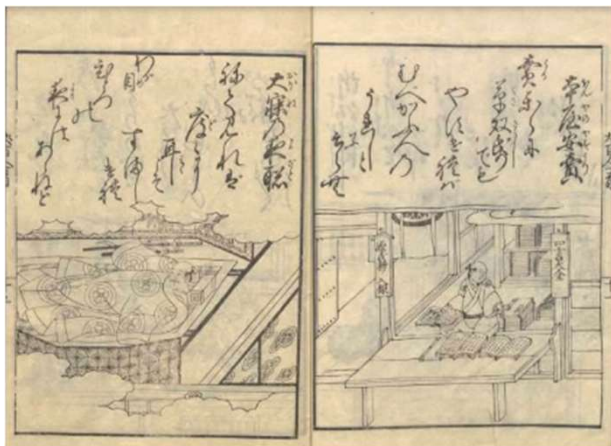


『酒餅(しゅべい)論』: 酒と餅菓子を擬人化した物語。「酒田造酒之丞飲み吉」はある日、餅菓子「大仏鏡の次郎ぬれ餅」たちを罵倒し、ついに酒と餅菓子の双方の争いは戦いに発展する。世の食べ物をそれぞれ味方につけ、さて勝利はどちらの手に?



『絵本見立(みだて)百化鳥(ひゃっかちょう)』: 実在しない鳥と植物をユーモラスに描く。左は「あふ木」で扇を木に見立て、その扇で涼む鳥は「汗とり」(笑)。

『犬百人一首』: 有名な和歌をもじって狂歌にし、「百人一首」風にアレンジした本。右は「売(うる)からに草双紙(くささうし)でもやすければむべかふ人のうれしと云(い)ふらむ」、作者は「本屋安売(ほんやのやすうり)」。元の歌人は誰でしょうか。

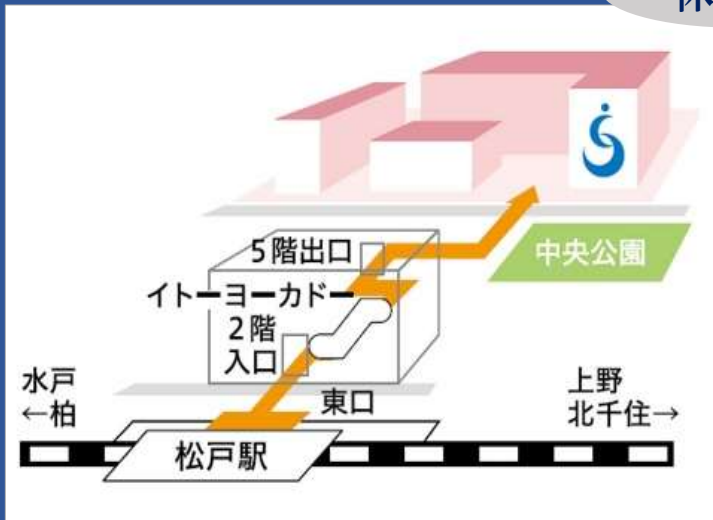


主な展示資料

- 『万買物調方記』1692年(元禄5年)刊
よろずかいものちようほうき
- 『塩売文太物語』1749年(寛延2年)刊、
うろこがたや 鱗形屋孫兵衛
- 『新撰古今役者大全』1750年(寛延3年)刊、
ここん 八文字屋其笑・瑞笑撰、鱗形屋孫兵衛他
- 『絵本見立假譬盡』1783年(天明3年)刊、
みだてかいづくし 勝尾春政画、須原屋市兵衛他
- 『江都名所図会』1785年(天明5年)刊、
えど 北尾政美画、野田七兵衛
- 『潮干のつと』1789年(寛政元年)刊、
しおひ 朱楽菅江編、喜多川歌麿画、蔦屋重三郎

休館日

日曜・祝日、学事日程による休業日



■交通のご案内

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・京成松戸線 松戸駅東口より徒歩5分
※学内に駐車場はありません。

■学内への入構、及び、図書館への入館の際に記帳等の手続きをお願いしています。

《お問い合わせ先》

聖徳大学・聖徳大学短期大学部
TEL 047-365-1111 (代) 図書館事務室